



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 株式会社要興業 上場取引所 東  
 コード番号 6566 URL <https://www.kaname-k.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤居 秀三  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長 (氏名)村木 宣彦 (TEL) 03(3986)5352  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,775	4.6	460	△1.8	470	△5.5	316	△4.1
2019年3月期第2四半期	5,522	1.4	469	△34.7	498	△30.2	330	△31.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 312百万円(△13.9%) 2019年3月期第2四半期 362百万円(△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	19.96	—
2019年3月期第2四半期	20.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	20,278	15,063	74.3
2019年3月期	20,647	14,957	72.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 15,063百万円 2019年3月期 14,957百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,672	3.3	820	△19.8	845	△20.3	568	△16.2	35.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期2Q	15,871,400株	2019年3月期	15,871,400株
2020年3月期2Q	ー株	2019年3月期	ー株
2020年3月期2Q	15,871,400株	2019年3月期2Q	15,871,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の提出日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社は2019年11月26日 (火) に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容 (音声) については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①2020年3月期 第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における国内景気は、日韓問題の影響や中国向けを中心とした輸出の低迷等、外需に弱さが残るものの、高水準の企業収益を背景に老朽化設備の更新等、構造的要因がもたらす需要増及び雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費も緩やかに増加しており、内需は底堅く推移しております。一方、世界経済は、米国における長短金利の逆転現象や海外の通商政策の動向等先行き不透明な状況であり、予断を許さない状況が継続しております。

当社グループの主要業務である廃棄物処理業につきましては、循環型社会形成の推進及び資源の有効利用促進といった、環境保全や法令遵守において当業界に対する社会的要求の高まりに応える努力と変革が引き続き求められております。また、中国における廃プラ輸入禁止の影響を受ける等、廃棄物処理業界において廃プラ処理費用の急上昇による原価の高騰が課題となっております。

このような経営環境の下、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬処分業務を主業とし、より厳格なコンプライアンスや適正処理の推進、顧客ニーズに合致する営業活動と業容の拡大に取り組んでまいりました。また、徹底した原価低減を継続しましたが、当業界における資源相場の変動等の影響を受けることとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,775,176千円（前年同期比4.6%増）となりました。営業利益は460,932千円（前年同期比1.8%減）、経常利益は470,969千円（前年同期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は316,817千円（前年同期比4.1%減）となりました。

#### ②セグメント別の概況

当社グループは単一セグメントであります。事業区分別の売上高は、収集運搬・処分事業4,056,333千円（前年同期比5.9%増）、リサイクル事業540,406千円（前年同期比15.4%減）、行政受託事業1,178,436千円（前年同期比11.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は5,480,462千円となり、前連結会計年度末に比べ683,441千円減少いたしました。主な要因は、鹿浜リサイクルセンター新築工事費用、配当金の支払等により現金及び預金が862,157千円減少したことです。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は14,798,453千円となり、前連結会計年度末に比べ314,433千円増加いたしました。主な要因は、鹿浜リサイクルセンターの設備投資等による機械装置247,276千円の増加他により有形固定資産その他が273,176千円増加したことです。なお、建設仮勘定は774,887千円減少しましたが、同リサイクルセンターの設備完成により建物及び構築物等に振り替わったものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,867,893千円となり、前連結会計年度末に比べ325,780千円減少いたしました。主な要因は、鹿浜リサイクルセンターの完成による未払消費税113,641千円並びに社会保険関係の支払いによる未払費用83,890千円及び預り金64,498千円の減少等により流動負債その他が242,390千円減少したことです。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は3,347,623千円となり、前連結会計年度末に比べ149,414千円減少いたしました。主な要因は、約定返済により長期借入金165,919千円減少したことです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は15,063,398千円となり、前連結会計年度末に比べ106,187千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益316,817千円及び配当金の支払206,328千円により利益剰余金が110,489千円増加したことです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度の期末残高に比べ、562,159千円減少し、3,333,588千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は204,167千円(前年同期比57.7%減)となりました。主に、税金等調整前四半期純利益478,863千円、減価償却費264,313千円による増加と、預り金64,498千円、未払消費税113,641千円及び未払費用83,890千円を含むその他246,587千円の減少、法人税等の支払額173,550千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は225,310千円(前年同期は968,040千円の増加)となりました。主に、定期預金の解約による定期預金の純増減額299,998千円の増加及び有形固定資産取得による支出439,404千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は541,016千円(前年同期比2.6%減)となりました。主に、長期借入金の返済による支出165,630千円、ファイナンス・リース債務の返済による支出127,274千円及び配当金の支払205,780千円の減少によるものです。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国の経済情勢につきましては、国内景気は引き続き緩やかな回復基調で推移するものの、米中の経済政策の動向や、北東・南西アジアなどにおける政治的な不安定要素もあり、予断を許さない情勢が続くものと思われま

す。このような環境の下で、当社グループは引き続きコンプライアンスと適正処理推進の姿勢を一貫し、組織体制の拡充と今後の業務拡大に向けた投資を行い、業績の向上を図って参りたいと考えております。

2020年3月期の業績は、当社の根幹の事業である収集運搬・処分事業の現場数が順調に増加し、行政受託事業も順調に推移するものの、資源相場が想定以上に軟調に推移していることからリサイクル事業の売上が大幅に減収となることが予想され、売上高は前年比微増を見込んでおります。また、原価低減を徹底しておりますが、リサイクル事業の減収は利益に直結することから減益を予想しております。

なお、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年11月14日）別途開示しております「連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,857,956	3,995,798
売掛金	1,235,144	1,283,697
商品	4,432	4,771
貯蔵品	14,727	11,711
前払費用	38,358	71,255
その他	14,080	114,034
貸倒引当金	△796	△806
流動資産合計	6,163,903	5,480,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,056,774	1,768,962
土地	8,738,476	8,747,376
リース資産(純額)	561,104	548,634
建設仮勘定	902,618	127,731
その他(純額)	229,596	502,773
有形固定資産合計	11,488,570	11,695,478
無形固定資産		
のれん	18,870	9,435
その他	103,642	113,217
無形固定資産合計	122,513	122,653
投資その他の資産		
投資有価証券	834,952	833,110
繰延税金資産	282,345	284,244
長期預金	5,000	5,000
保険積立金	1,596,269	1,657,189
その他	156,035	201,908
貸倒引当金	△1,666	△1,130
投資その他の資産合計	2,872,936	2,980,322
固定資産合計	14,484,020	14,798,453
資産合計	20,647,923	20,278,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	328,771	291,007
短期借入金	178,327	155,996
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	331,386	331,675
リース債務	301,049	269,011
未払法人税等	198,092	187,025
賞与引当金	199,278	218,800
その他	616,767	374,377
流動負債合計	2,193,673	1,867,893
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	1,526,824	1,360,904
リース債務	297,618	316,726
繰延税金負債	680,048	679,877
退職給付に係る負債	500,994	508,906
役員退職慰労引当金	401,617	411,033
その他	49,934	50,174
固定負債合計	3,497,037	3,347,623
負債合計	5,690,711	5,215,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	827,736	827,736
資本剰余金	1,400,341	1,400,341
利益剰余金	12,539,588	12,650,078
株主資本合計	14,767,667	14,878,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189,544	185,242
その他の包括利益累計額合計	189,544	185,242
純資産合計	14,957,211	15,063,398
負債純資産合計	20,647,923	20,278,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,522,945	5,775,176
売上原価	4,465,484	4,726,979
売上総利益	1,057,461	1,048,197
販売費及び一般管理費	588,246	587,265
営業利益	469,214	460,932
営業外収益		
受取利息	1,402	436
受取配当金	6,111	6,380
保険解約返戻金	31,699	9,064
その他	6,721	7,290
営業外収益合計	45,936	23,171
営業外費用		
支払利息	15,616	13,134
その他	1,395	—
営業外費用合計	17,012	13,134
経常利益	498,138	470,969
特別利益		
固定資産売却益	3,929	7,835
投資有価証券売却益	973	—
その他	—	105
特別利益合計	4,903	7,941
特別損失		
固定資産除却損	503	46
特別損失合計	503	46
税金等調整前四半期純利益	502,538	478,863
法人税等	172,320	162,046
四半期純利益	330,218	316,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,218	316,817

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	330,218	316,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,612	△4,302
その他の包括利益合計	32,612	△4,302
四半期包括利益	362,830	312,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,830	312,515



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	502,538	478,863
減価償却費	253,099	264,313
のれん償却額	9,435	9,435
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,234	9,415
賞与引当金の増減額(△は減少)	29,119	19,521
貸倒引当金の増減額(△は減少)	341	470
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30,051	7,911
受取利息及び受取配当金	△7,514	△6,816
支払利息	15,616	13,134
保険解約返戻金	△31,699	△9,064
固定資産売却損益(△は益)	△3,929	△7,835
固定資産除却損	503	46
投資有価証券売却損益(△は益)	△973	—
売上債権の増減額(△は増加)	△13,046	△49,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,542	2,677
仕入債務の増減額(△は減少)	75	△37,764
預り金の増減額(△は減少)	10,202	△64,498
その他	△45,856	△246,587
小計	764,740	384,210
利息及び配当金の受取額	7,364	6,642
利息の支払額	△15,616	△13,134
法人税等の支払額	△273,420	△173,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	483,066	204,167
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,317,281	299,998
有形固定資産の取得による支出	△336,242	△439,404
有形固定資産の売却による収入	5,220	6,806
無形固定資産の取得による支出	△19,902	△26,729
投資有価証券の取得による支出	△4,185	△4,185
投資有価証券の売却による収入	5,574	—
保険積立金の積立による支出	△66,955	△67,736
保険積立金の払戻による収入	66,490	26,863
その他	759	△20,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	968,040	△225,310

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,024	△22,331
長期借入金の返済による支出	△165,382	△165,630
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△147,269	△127,274
配当金の支払額	△221,708	△205,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,384	△541,016
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	895,722	△562,159
現金及び現金同等物の期首残高	3,143,150	3,895,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,038,873	3,333,588

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第2四半期会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。